

2008年4月17日

平成20年3月期 投資有価証券評価損の発生及び
通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成20年3月期決算において、投資有価証券評価損の特別損失を計上する見込となりましたのでお知らせいたします。

あわせて、最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11月6日の中間決算発表時に公表した平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1.平成20年3月期末の投資有価証券評価損の総額

【連結】

(A) 平成20年3月期末の投資有価証券評価損の総額	3,837百万円
(B) 平成19年3月期の純資産の額 (A/B×100)	188,855百万円 (2.0%)
(C) 平成19年3月期の経常利益額 (A/C×100)	21,259百万円 (18.0%)
(D) 平成19年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	11,954百万円 (32.1%)

【個別】

(A) 平成20年3月期末の投資有価証券評価損の総額	3,790百万円
(B) 平成19年3月期の純資産の額 (A/B×100)	164,013百万円 (2.3%)
(C) 平成19年3月期の経常利益額 (A/C×100)	17,004百万円 (22.3%)
(D) 平成19年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	9,532百万円 (39.8%)

(ご参考) 当社の決算期末は、3月31日であります。

2. 業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

【連結】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成19年11月6日発表)	890,000	14,000	15,000	8,000	45円 15銭
今回修正予想 (B)	860,000	7,000	7,500	1,300	7円 34銭

増減額 (B - A)	△30,000	△7,000	△7,500	△6,700	-
増減率(%) (ご参考)	△3.4%	△50.0%	△50.0%	△83.8%	-
前期実績 (平成19年3月期)	911,674	20,405	21,259	11,954	67円 43 銭

【個別】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成19年11月6日発表)	730,000	7,000	10,000	6,000	33円 86 銭
今回修正予想 (B)	710,000	1,500	4,500	500	2円 82 銭
増減額 (B - A)	△20,000	△5,500	△5,500	△5,500	-
増減率(%) (ご参考)	△2.7%	△78.6%	△55.0%	△91.7%	-
前期実績 (平成19年3月期)	756,743	14,440	17,004	9,532	53円 76 銭

3. 修正理由

当社グループの退職給付制度は、年金資産の運用上発生する利差損益である数理計算上の差異を、発生年度に一括計上しています。当期は世界的な株安などの運用環境の悪化により、年金資産の運用が期初に見込んだ計画を大幅に下回ったため、その不足分を数理計算上の差異として、連結で約45億円、個別で約41億円、販売費及び一般管理費に計上する計画です。その結果、営業利益は平成20年3月期中間決算発表時の計画を下回る見込です。

事業の面でも、当社事業と関連の深い持家を含め、住宅需要の低迷と改正建築基準法施行に伴う混乱により新設住宅着工戸数が前期実績を大幅に下回る等、厳しい状況が続きました。特に木材建材の流通事業につきましては、住宅着工戸数の激減によって需給バランスが崩れたことによる市況低迷が想定以上に長引いたため、売上高、売上総利益が計画を下回りました。

また、軟調な国内株式市場の影響を受け、投資有価証券評価損を約38億円計上することとしました。同期中に一部の投資有価証券の売却によって売却益約22億円を計上しますが、当期純利益は計画を下回る見込です。

注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は今後さまざまな要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上

<本件に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。>

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐野

TEL: 03-3214-2270